

「質の高いICTインフラ」投資の指針

- 総務省は、2016年4月のG7香川・高松情報通信大臣会合の成果を踏まえ、質の高いICTインフラ投資の概念の国際的な普及のため、2017年7月に「質の高いICTインフラ」投資の指針を策定・公表。
- 各国ICT政策立案者や調達管理者・担当者のために、「質の高いICTインフラ」の基本的な概念や、「質の高いICTインフラ」整備を進めるための有益な示唆や好事例を提供することにより、「質の高いICTインフラ」に関する認識醸成、ニーズの喚起、ICTインフラ事業推進能力が向上し、ひいては当該国のインフラ事業の質の向上が図られることが期待される。
- 今後、IoT・AI等我が国高度ICTを活用したインフラに対しても幅広く適用していくことを目指す。

【第1章 「質の高いICTインフラ」とその必要性】

1. 1 ICTインフラの特徴

・「ICTインフラ※」、「ICTを活用したインフラ」の2種類

※ハードインフラ: 物理的なICTネットワーク機能(光海底ケーブル、地デジ、衛星、データセンタ等)

ソフトインフラ: ICTサービス、プラットフォーム(IoT/AIプラットフォーム、サイバーセキュリティ関連システム、ビッグデータ関連システム等)

- ・ネットワーク構築に当たって全体を考慮する必要性
- ・運用・保守がインフラとしての価値において大きな役割を担う
- ・他の物理的インフラの耐用年数と比べて、相対的に短いライフサイクル
- ・更改・バージョンアップの必要性 等

1. 2 ICTインフラの質

1. 2. 1 「質の高いICTインフラ」の理念・意義

- ・G7、G20等国際社会において「質の高いインフラ」投資に対する一定の社会的合意
- ・様々な国・国際機関等で「質の高いインフラ」の推進に向けた取組

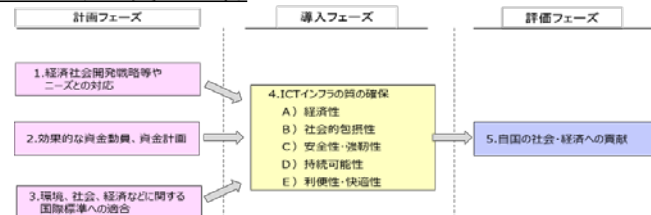
1. 2. 2 「質の高いICTインフラ」とは

- ・「質の高いICTインフラ」とは、ICTインフラのライフサイクルコストや品質、または適合性等を踏まえた際に、経済性や効果性、効率性といった点で、支払いに対し、高い価値を期待できるICTインフラ

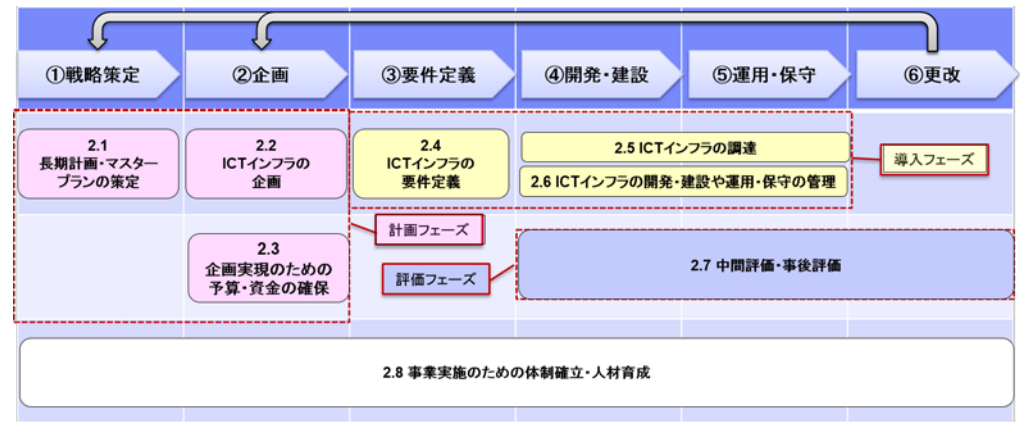
・ICTインフラにおいて質が考慮されなかった事例をパターン別に例示

1. 2. 3 「質の高いICTインフラ」投資を実現するための要素

1. 2. 4 ICTインフラの質の内容



【第2章 「質の高いICTインフラ」整備の具体的な進め方



「質の高いICTインフラ」投資を実現するための要素におけるフェーズ

【1. 2. 3及び1. 2. 4で言及した質の要素・内容を確保するためのICTインフラの計画・調達等の進め方を時系列に沿って解説。IoT・AI等我が国高度ICTを活用したインフラに対しても幅広く適用することを想定。】

【Appendix 質が確保されたICTインフラの例示】

【各国ICT政策立案者や調達管理者・担当者に「質の高いICTインフラ」投資を具体的なイメージで理解してもらう観点から、第2章で示されたICTインフラの質が確保された事例(海底ケーブル・光ファイバ網敷設・通信ネットワーク網整備・生体認証システム・固体素子型気象レーダーにつき言及)】